

大規模建築物の除却工事現場に関する  
危害防止措置等実態調査結果

国土交通省住宅局建築物防災対策室

## 1. 調査概要

「大規模な建築物の除却工事の現場に関する報告について」(平成15年3月18日付国住指第8549号)により、各特定行政庁に対し、富士市の事故と同様の除却工事の状況について、次の内容の報告を求めた。

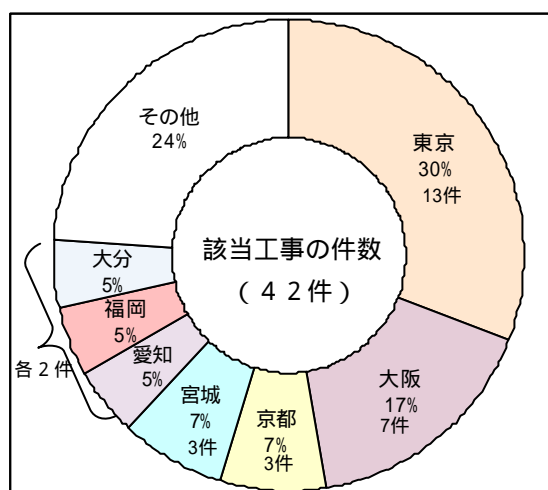
### 対象除却工事

5階建て以上の建築物の除却工事で、平成15年3月31日において、敷地境界線から5m以内において当該建築物の5階以上の部分の工事を行っているもの。

### 報告を求める除却工事の状況

- ・ 増改築の記録や、メンテナンスの記録の有無
- ・ 作業工程、調査事項等
- ・ 除却工事の危害防止措置の実施に関する施工状況
- ・ 建築基準法第90条関係規定への対応状況

## 2. 対象除却工事の件数



対象除却工事の件数の都道府県別分布において、静岡県富士市で発生した事故と同様の建築物解体工事は、東京都、大阪府といった大都市圏で多い傾向が見られる。

### 3. 調査結果の概要

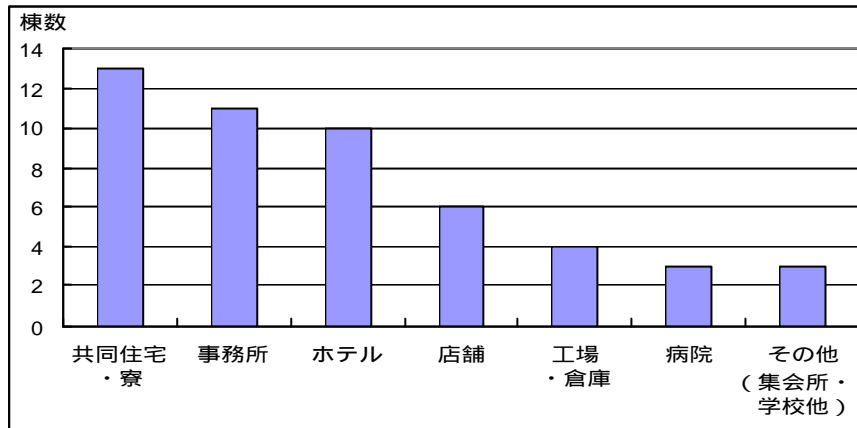
#### 3.1. 建築物の概要

##### 【平均階数・床面積】

平均階数 6.8 階

平均床面積 約 5,000 m<sup>2</sup>

##### 【主要用途】

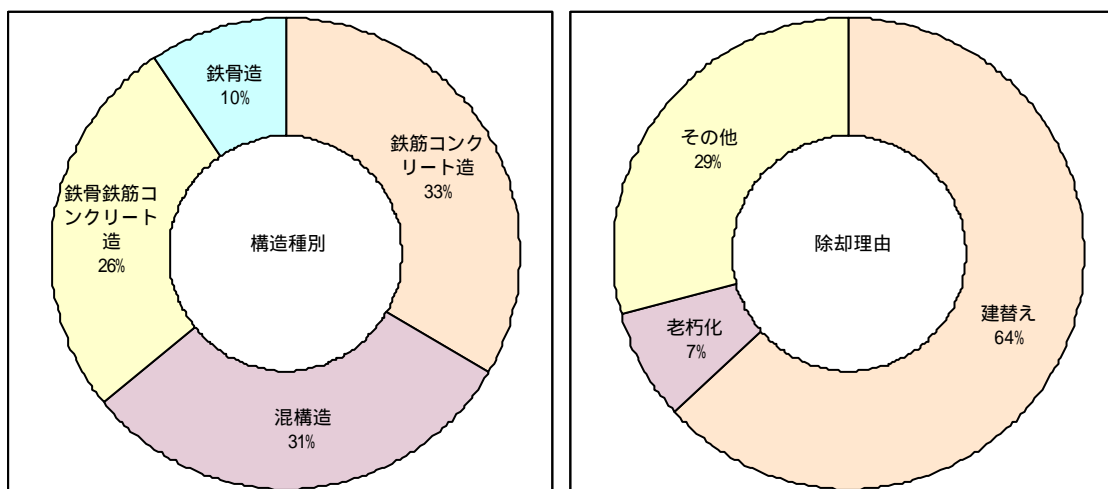


##### 【構造種別】

鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造のものが多いが、混構造のものも多い。なお、一部が木造のものが、ホテル等を中心に約 13%あった。

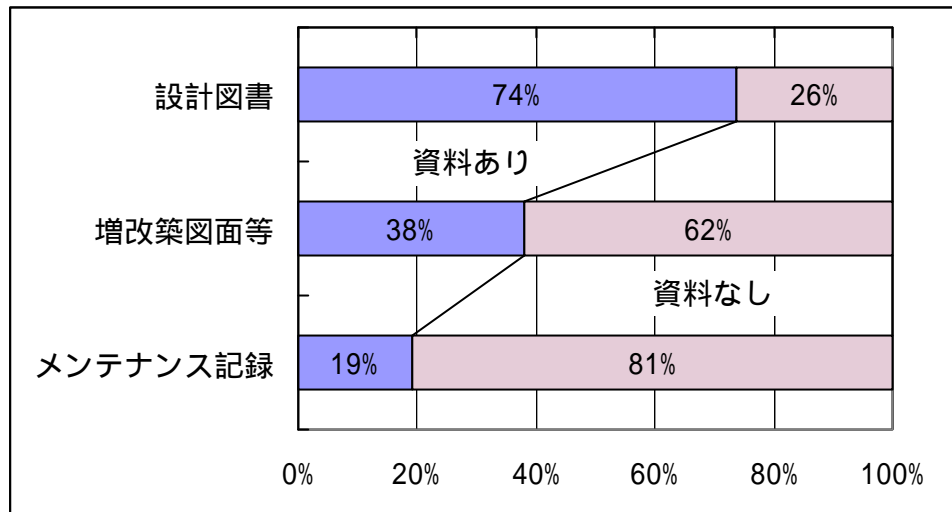
##### 【除却理由】

除却の理由は、建替えによるものがほとんどである。



### 3.2. 事前調査の実施状況

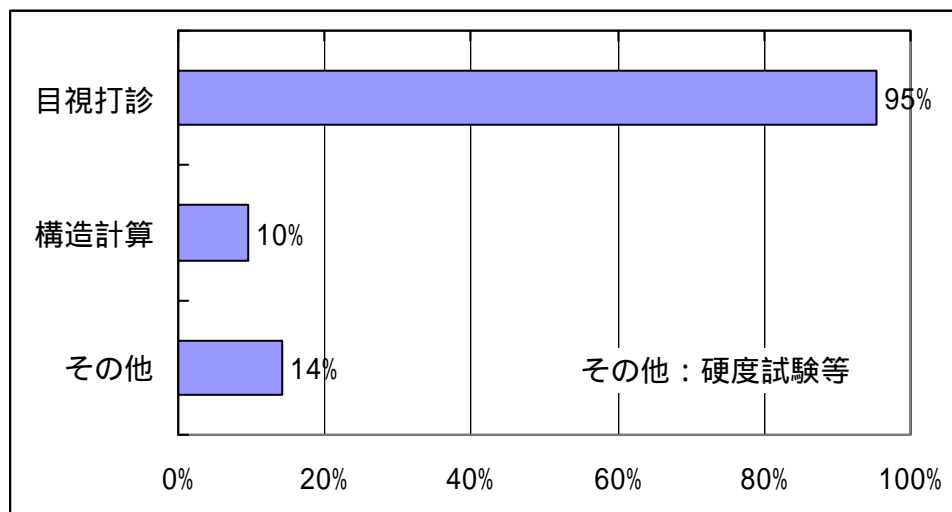
#### 【設計図書、増改築の記録等の有無】



対象工事の約6割で、増改築に関する図面等の資料がなく、竣工時の図面にたよらざるを得ない状況がうかがえる。

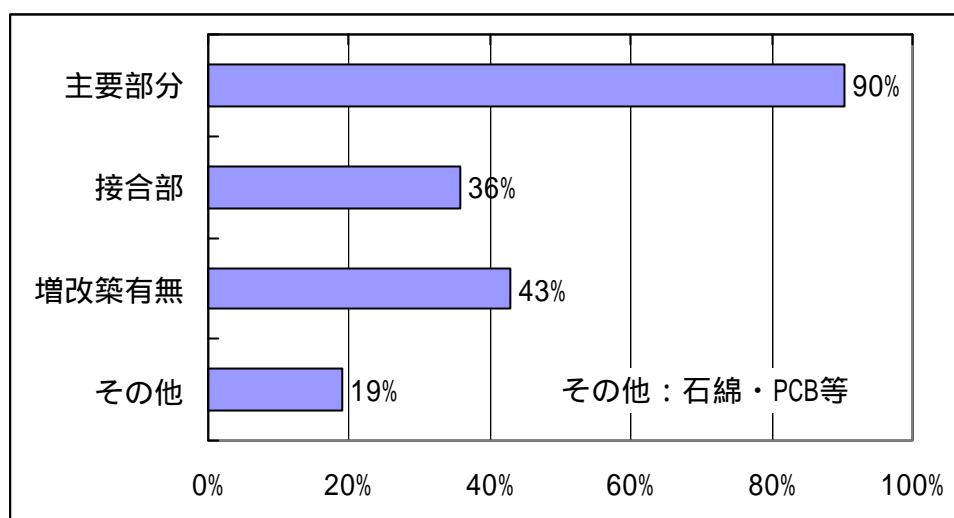
また、建築基準法第12条に基づく調査などのメンテナンス記録は、残されていないケースが多い。

#### 【事前調査の方法】



構造計算を行っているものは、重機を載せる工法を採用している場合に必要との回答が多い。

### 【事前調査の内容】

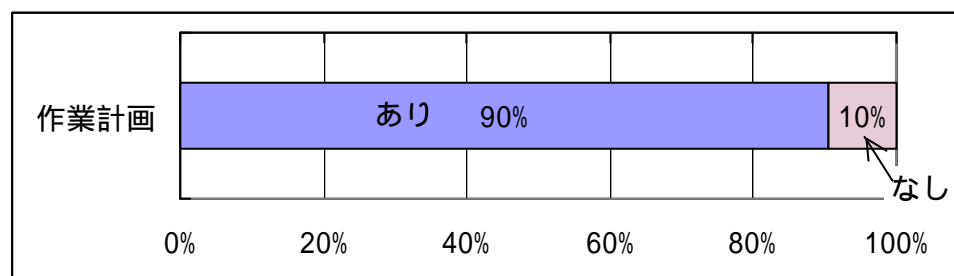


### 3.3. 施工計画等

#### 【工期】

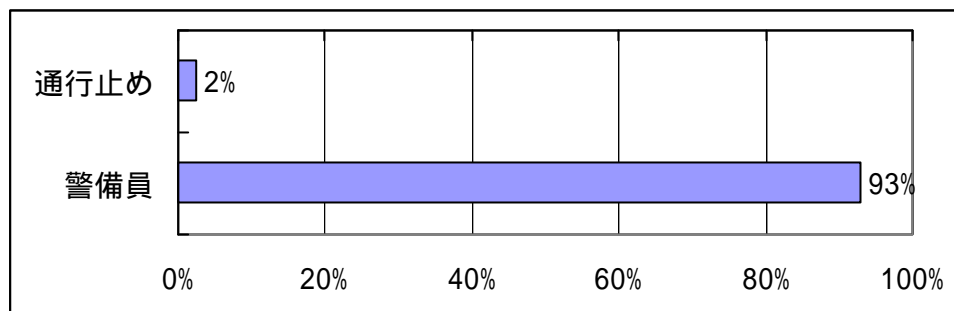
平均的な工事期間は3.6ヶ月。また各階ごとの解体に要する日数は平均約6日であり、ほとんどばらつきが見られない。

#### 【作業計画】

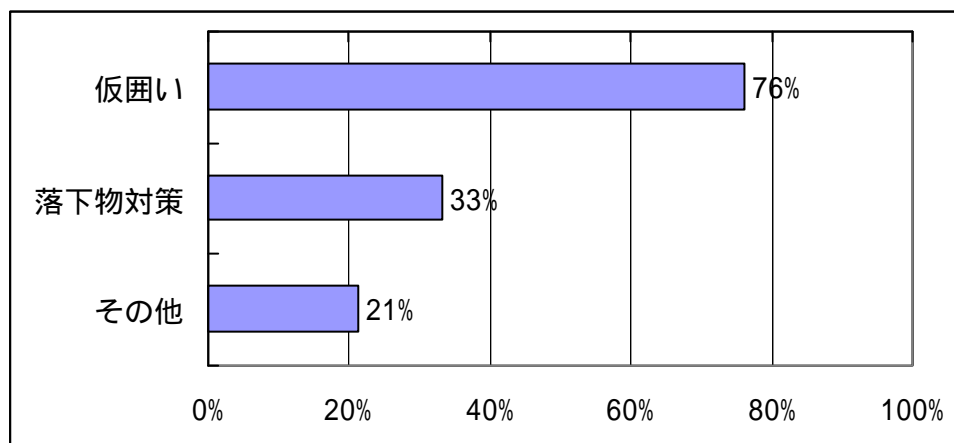


ほとんどの工事では作業計画が立てられていたが、いくつかの工事では作業計画の作成が行われていなかった。

### 【周辺への安全対策】



### 3.4. 建築基準法第90条に基づく安全対策



建築基準法第90条への対応状況としては、仮囲いの設置等を行っており、調査においても法への不適合が指摘されたものはない。

その他の安全対策として、既存躯体補強をしながらの作業計画を立てているものや、擁壁や排水計画に対する特別な配慮をしているものなどがあつた。

### 3.5. その他

工事中に想定外の耐圧盤が見つかったために工程計画どおりに解体工事が進んでいない例も報告された。

また、3月末に鉄筋片落下により、歩行者に負傷させた事例が報告された。

( 調査票 )  
様式 1 ( 件数 )

大規模建築物の除却工事現場に関する危害防止措置等実態調査  
< 調査表 ( 国土交通省報告様式 1 ・対象除却工事件数 ) >

1 . 特定行政庁名	:	
2 . 報告書記入者 氏名	:	
	連絡先電話番号 :	
	連絡先メールアドレス :	@
3 . 調査対象除却工事の件数	:	件
4 . 調査対象除却工事の把握方法	:	
調査対象建築物		
・ 5 階建て以上の建築物の除却工事		
・ 平成 15 年 3 月 31 日現在で、敷地境界線 ( 道路境界線及び隣地境界線 ) から 5 m 以内において、5 階建て以上の部分を除却している工事		
5 . その他特記事項		

## 大規模建築物の除却工事現場に関する危害防止措置等実態調査

&lt; 12 条 3 項報告調査個表 &gt;

1. 建築物の概要			
階数	:	階	
主要用途	:		
構造種別 <sup>1</sup>	:	木造	鉄筋鉄骨コンクリート造
		鉄骨造	鉄筋コンクリート造
		コンクリートブロック造	その他 ( )
床面積の合計	:	m <sup>2</sup>	
除却理由	:	老朽化して危険があるため	建替のため
			その他
2. 解体工事の事前調査の実施状況等			
設計図書の有無	:	あり	なし
増改築や模様替えの記録	:	あり	なし
メンテナンスの記録	:	あり	なし
事前調査の方法	:	目視・打診	構造計算
		その他 ( )	
事前調査の内容 <sup>1</sup>	:	主要部分の劣化の状況	主要な接合部の状況
		増改築や模様替えの有無	
		その他 ( )	
3. 解体の施工計画等			
工期	:	ヶ月	
工程の概要 <sup>2</sup>	:		
作業計画の有無	:	あり (法令に基づく場合はその法令 : )	
		なし	
届出の有無 <sup>1</sup>	:	建築基準法に基づく除却届	
		建設リサイクル法に基づく届出	
		労働安全衛生法に基づく届出	
		その他 ( )	
周囲の安全対策	:	周辺道路の通行止め	警備員の配置
		その他 ( )	
4. 基準法 90 条対応状況 :			
5. その他特記事項			

1 : 複数回答可

2 : できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができない場合は、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。



大規模建築物の除却工事現場に関する危害防止措置等実態調査  
 < 現地調査表 >

1. 特定行政庁名				:	
2. 報告作成者 氏名				:	
連絡先電話番号				:	
3. 建築基準法第 90 条の状況 <sup>1</sup>					
適法なもの				:	件
違反有無が不明のもの				:	件
違反があるもの				:	件
違反事項 <sup>2</sup> :				(	) 関連 件
				(	) 関連 件
				(	) 関連 件
4. その他建築物外周等で確認された安全措置 :					
5. その他特記事項					

- 1 外観の目視等により確認できる事項について記入して下さい。
- 2 建築基準法令の該当条項をカッコ内に記入し、その条項に違反していたものの件数を記入して下さい。